

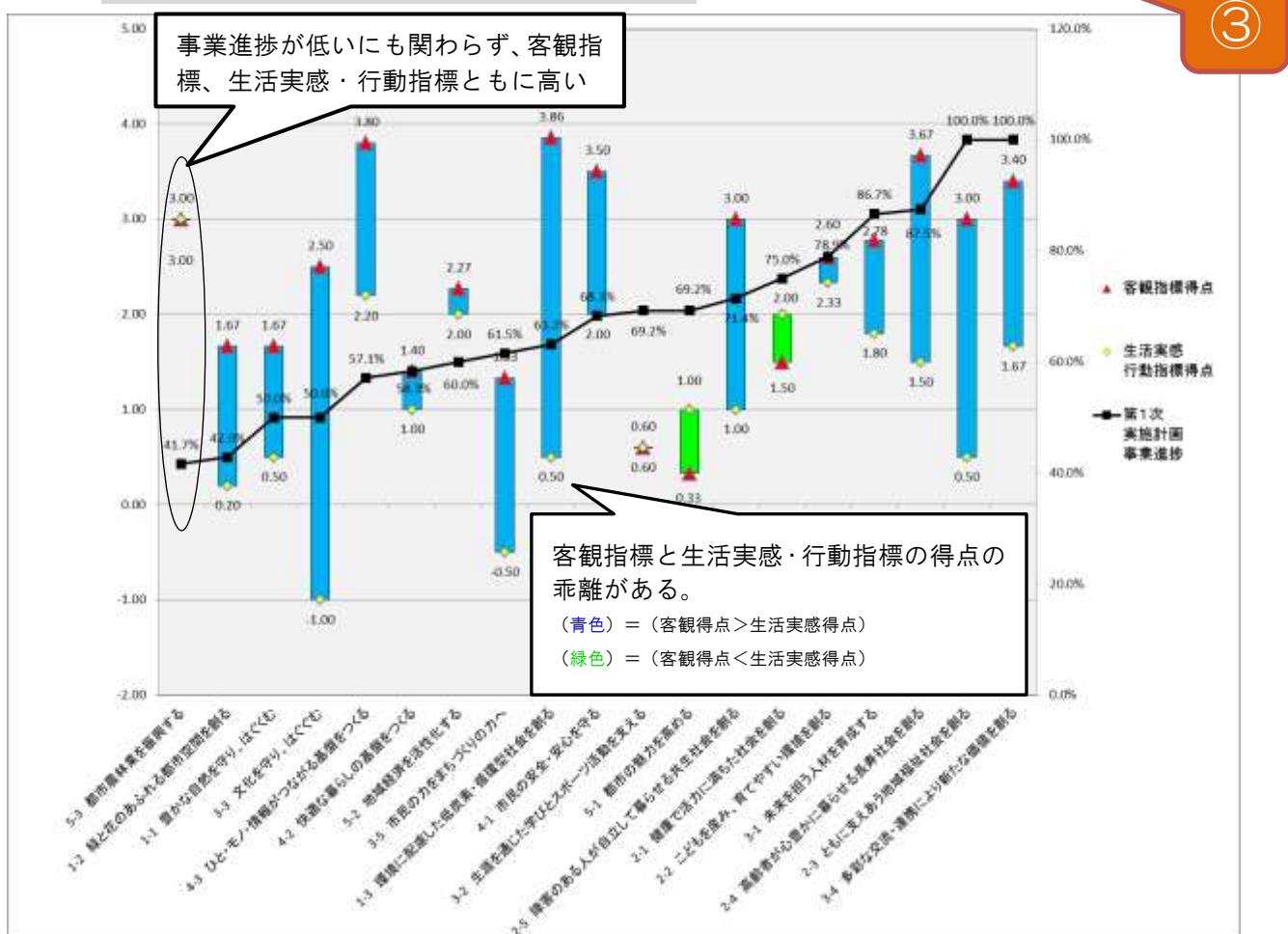
現在の政策評価制度に関する課題認識について

【ポイント】

- 今回が現在の新基本計画のもとでの初めての政策評価（中間評価）であるが、「生活実感・行動指標」（市民アンケートの質問項目）を中心として課題があると思われ、P D C Aサイクルの中で活用が難しいのではないか。
- 新基本計画審議会政策評価部会において、より良い政策評価制度とするため、評価そのものの審議とともに、制度上の問題点の指摘も含めて審議をお願いしたい。

【想定される課題】

- i. 「生活実感・行動指標」と「客観指標」の平均値を機械的に合算していること。
- ii. 指標の設定や目標値の設定に疑義があること。 下図及び別添3参照



⇒ 大半の「施策の柱」で「客観指標」の達成状況と「生活実感・行動指標」の達成状況が乖離しており、ここに何らかの課題が生じていることが窺われる。

※第1回でお示しした上記グラフのうち、第1次実施計画事業進捗の数値について、平成27年度決算見込みの数値を用いておりましたので、平成27年度決算の数値に修正しております。
 また、施策の柱1-3、2-4、4-1、4-3の客観指標の得点について、誤りがございましたので、修正しております。